

連続7回講演会

古代・激動の中国三国時代と 邪馬台国の卑弥呼



写真左から「シルク博にて作家井上靖へ取材」・「桃園の誓い『三国志演義』」・「曹操高陵」・「拜風台」 撮影：児島建次郎さん

ユーラシア大陸の内陸を横断するアジアとヨーロッパを結ぶシルクロードで展開された文明は「融合」と「交流」を繰り返しながら世界の歴史に大きな足跡を残しました。日本の歴史や文化もシルクロードの影響を受けるとともに、やがて独自の文化を築き上げていきます。中国三国時代は魏の曹操、呉の孫権、蜀の劉備による天下取りが激化し、軍師諸葛孔明が活躍していました。一方、日本古代史で刮目（かつもく）すべきは、激動の中国三国時代の景初3年（西暦239年）に邪馬台国卑弥呼が魏に使者を送ったことです。この時代に、卑弥呼はなぜ魏に使者を送ったのでしょうか、『魏志倭人伝』に記載されている銅鏡百枚はどのようなものだったのでしょうか。講師に元NHKチーフアナウンサーで、なら・シルクロード博覧会の企画を担当した児島建次郎さん（白鳳短期大学名誉教授）をお迎えし三国時代と卑弥呼をテーマにお話ししていただきます。

- 第1回 11月17日（土曜日）「シルク博から30年—作家井上靖との思い出」
- 第2回 11月24日（土曜日）「魏の曹操は英雄か、乱世の奸雄か」
- 第3回 12月15日（土曜日）「赤壁の戦い—呉将周瑜知略で曹操の野望をくじく」
- 第4回 12月22日（土曜日）「出師の表を奉じ孔明は北伐へ、秋風吹く五丈原で病死す」
- 第5回 1月26日（土曜日）「邪馬台国卑弥呼は、なぜ魏に使者を送ったのか」
- 第6回 2月9日（土曜日）「魏から贈られた銅鏡百枚は三角縁神獸鏡か」
- 第7回 3月23日（土曜日）「邪馬台国は何処に—畿内説と九州説をめぐって」

講師 児島 建次郎さん（元NHKチーフアナウンサー・白鳳短期大学名誉教授）

会場 大阪府立中央図書館2階多目的室

定員 各回80名（先着順、申込不要、受講無料）

時間 各回14時から15時30分（開場13時30分）



講演概要

第1回 11月17日(土曜日)「シルク博から30年—作家井上靖との思い出」

1988年「なら・シルクロード博覧会」は、「民族の英知とロマン」というテーマで世界10カ国から貴重な文物が出展され、総合プロデューサーの作家井上靖は「平和の使者が奈良に集った」と言いました。私は、NHK代表としてこれに関わりました。講演会1回目は、シルクロード研究に誘ったシルク博の井上靖や平山郁夫との思い出を、30年の年月を経て回顧します。

第2回 11月24日(土曜日)「魏の曹操は英雄か、乱世の奸雄か」

後漢末の西暦184年に民衆の反乱がおき、曹操が頭角をあらわします。曹操の祖父は宦官のため名士に認められず、やがて荀彧(じゅんいく)の加入により力を蓄え、官渡の戦いで袁紹(えんしょう)を破り、中国統一をめざします。評価の分かれる武将曹操を検証します。

第3回 12月15日(土曜日)「赤壁の戦い—呉将周瑜知略で曹操の野望をくじく」

西暦208年、中国統一の野望をいだき、曹操は83万の大軍を率いて長江を下り赤壁にやってきます。これに対し、呉将の周瑜(しゅうゆ)は火攻めの作戦をとります。この時、孔明は拝風台を築き、東南の風が吹くことを祈ったとされます。風により鎖につながれていた船団は炎上し、曹操の大軍は壊滅しました。この赤壁の戦いを検証します。

第4回 12月22日(土曜日)「出師の表を奉じ孔明は北伐へ 秋風吹く五丈原で病死す」

劉備の死後、孔明は劉禪に出師の表を奉じ北伐に出陣します。しかし、西暦234年、五丈原で魏の司馬懿(仲達)と対峙し、自らの死を隠すように言い残して力尽きました。のちに、孔明を恐れ「死せる諸葛、生ける仲達を走らす」の諺が生まれました。孔明の北伐について検証します。

第5回 1月26日(土曜日)「邪馬台国卑弥呼は、なぜ魏に使者を送ったのか」

黄巾の乱にはじまる後漢末の混乱の中、中国辺境で地方長官が力を強め、遼東の公孫氏もその一つでしたが、西暦238年に公孫氏は司馬懿が指揮する魏の大軍に滅ぼされます。この翌年、景初3年(西暦239年)、卑弥呼最初の使者が洛陽に赴きます。卑弥呼は「親魏倭王」の称号が与えられました。卑弥呼が魏に使者を送った背景を検証します。

第6回 2月9日(土曜日)「魏から贈られた銅鏡百枚は三角縁神獸鏡か」

魏から贈られた鏡は、縁が分厚く断面が正三角形から三角縁神獸鏡といいますが、魏での出土は皆無です。魏の年号に存在しない景初4年の銘鏡が広島県福知山広峯15号墳から出土します。1986年、中国の第一人者であった王仲殊氏は日本で講演し、これをもとに私はNHKスペシャル「三角縁神獸鏡の謎」を放送しました。謎の多い三角縁神獸鏡を検証します。

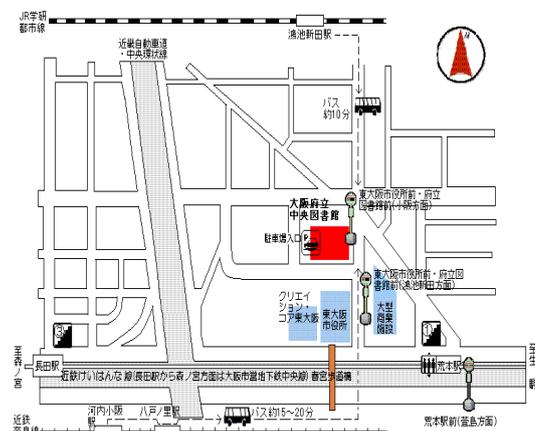
第7回 3月23日(土曜日)「邪馬台国は何処に—畿内説と九州説をめぐって」

邪馬台国は何処にあったのでしょうか。『魏志倭人伝』の解説によって所在地は、九州説と畿内説に分かれ、考古学からは、九州吉野ヶ里遺跡や、奈良県桜井市の纏向遺跡の調査研究がされています。古代史の最大の謎であり、ドラマとロマンに満ちた邪馬台国論争を検証します。

【講師紹介】

児島 建次郎(こじま けんじろう): 1941年生まれ、NHKチーフアナウンサー 白鳳短期大学名誉教授
NHKにアナウンサーとして入局し、スペシャル番組や衛星放送を通じて全国の歴史文化を紹介する番組作成にたずさわる。1988年、NHKと奈良県が主催した「なら・シルクロード博覧会」にNHK代表として係り、シルクロード研究をはじめ。専門は「シルクロード文化論」「コミュニケーション論」。著書に『正倉院への道』『敦煌の美と心』『悠久なるシルクロードから平城京』など多数。

※講演会の参加に際して、障がい等の状況により配慮が必要な方は事前にお知らせください。



【アクセス】

- 近鉄けいはんな線(地下鉄中央線乗り入れ) 荒本駅下車(1番出口)北西へ約400M
- 長田駅下車(3番出口)北東へ約1000M
- 東大阪市役所北側

問い合わせ先

大阪府立中央図書館

生涯学習事業担当

〒577-0011

東大阪市荒本北1-2-1

TEL 06(6745)0170 FAX 06(6745)0262

【駐車場】

- 有料地下駐車場: 120台/入庫後15分間は無料(平日は100円/60分、最大料金500円、土日祝祭日は150円/60分、最大料金600円)
- 詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/central/>